



R8.6.26 令和8年度第2回小高区義務教育学校設立検討準備協議会資料
(南相馬市教育委員会事務局教育総務課)

【第2回小高区義務教育学校設立検討準備協議会の 目的及び論点について】

1. 第2回協議会の目的

■ 説明事項（2）小高小中学校の小中一貫教育の現状評価について

- ⇒ ・ 施設分離型小中一貫教育を開始して5年が経過
- ・ このことからこれまでの取り組みによる成果や課題の共有

■ 協議事項（1）小高小中学校の小中一貫教育の現状評価から考える今後の方向性 について

- ⇒ ・ 説明事項（2）から見えた課題解決手法として提案する「施設一体型義務教育学校開設」の理由の共有。
- ・ 現状の教育環境と施設一体型義務教育学校のメリット・デメリットの共有。 1



2. 協議事項（1）についての主な協議事項（論点）

論点①【施設一体型義務教育学校の開設を目指すことについて】

現状の小中一貫教育の課題解決方法として施設一体型の義務教育学校の開設という方法でよろしいか。

- 現状の施設分離型の小中一貫教育はこれまで教職員の尽力により行われており、乗り入れ授業や異学年交流による一定の成果が出ています。
- しかし、現在の施設分離型の小中一貫教育は「施設分離」による課題と「小学校と中学校の文化・制度的な壁」による大きく2つの課題があります。
- このことから「施設の一体化」と「義務教育学校の開設」による課題解決を図り、よりよい教育環境の構築を図りたい。

⇒現状の課題を解決し、よりよい教育環境の構築を図るため「施設一体型の義務教育学校の開設を目指す」という考え方について、ご意見をお聞かせください。